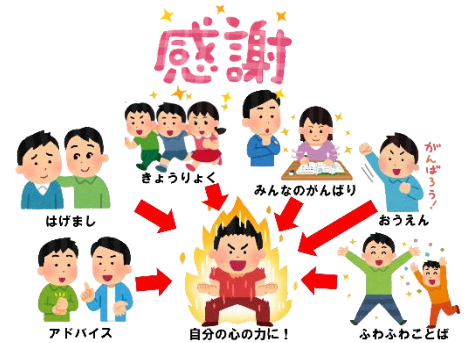




1、2月の生活目標

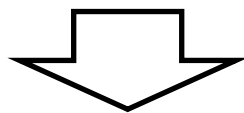
感謝の気持ちを届けよう

1学期、2学期と、様々な活動や行事を積み重ねてきた子どもたち。本気で取り組んだり、粘り強く挑戦したりして、子どもたち一人一人がレベルアップしています。1月の生活朝会では、そういった**自分の成長は、もちろん自分自身の努力ではあるけれども、頑張る自分を支えてくれた仲間がいたのではないかと、全校に振り返りを促しました。**応援してくれた人、一緒に頑張ってくれた人、自分のモデルとなってくれた人。支えてくれた人に、言葉で感謝を伝えることに加えて、**関わり方を通して感謝を伝えることを目標にしました。**



それぞれの学年学級では、「ありがとう」を伝えるカードを渡し合ったり、他学年と関わる機会を設けたりするなど、様々な活動が行われました。学校行事では「6年生を送る会」に向けて、6年生に感謝の気持ちを伝えようと、時間をかけ、心をこめて準備を進めました。当日は体育館いっぱい温かい感謝の気持ちがあふれました。**感謝の気持ちがもつ温かいプラスのエネルギーを改めて感じることができました。**

失敗をおそれず、心を込めて一生懸命感謝を届ける過程を通して、「一生懸命だったね」「一緒にやってくれたね」など、さらに「ありがとう」が生まれ、互いの頑張りを認め合い、達成感や成就感を感じることができた1、2月になりました。得られた達成感や成就感を次の学年につなげていくために、最後の生活目標は次のような目標にしました。



3月の生活目標

なりたい自分を目指してがんばろう

進学進級に伴い、3月は「終わりの時期」、4月は「新しいスタート」と捉えられることが多いことでしょう。4月になり、張り切って学校に登校してくる子どもたちの姿はとても素敵です。しかし、4月になっていきなり「**〇年生らしくしよう!**」と思っても、うまくいかないことも多いです。そこで**気落ちしてしまう子**もいるかもしれません。学年が切り替わると同時にできることが増えるわけではないですね。

そこで、3月は「今の学年のいいエンディング」を目指すのではなく、「次の学年に向けたいいプロローグ」を目指します。自分の力、クラスの力を発揮して、次の学年に向けた期待、活力をもつための「**学級じまい**」を子どもたちが計画、運営していけるように職員は支援していきます。**自分の力を試し、自分たちの力でやり抜くことで、3月末にはさらに大きな達成感と成就感、期待感がもてるようにしていきたい**と思います。「一人でも頑張れること」、「みんなで頑張ること」という2つの頑張りのポイントを示し、最後まで学級づくりの中で成長できる教育活動を進めていきます。

